



「心の目を開いて」

ルカ福音書二四…13～35

牧師 安藤 脩

この聖書箇所に記載されている、二人のイエス様の弟子たちは、失望落胆し、都で暮らす意味を失い、故郷への帰途に有ります。「わたしたちは、あの方こそイエスラエルを開放してくださると望みをかけていました。」(…21)とあるように、イエス様に望みをかけていたが、イエス様の死で、完全に望みを絶たれたこの弟子たちの落ち込みよう。私には良くわかりません。(東京藝術大学の受験に失敗した経験があるからです。合格できると信じて臨んでいただけに、風邪のためとはいえ、ショックが大きかったです。)でも彼らは故郷への帰り道、「話し合い論じ合って」いました。本来なら、論じる気力もないはずですが。しかし状況は少し違いました。その論じ合う興奮の原因は、「仲間の婦人たちがわたしたちを驚かせました。：遺体を見つげずに：天使たちが現われ、

『イエスは生きておられる』と告げた」(…22～23)ことです。

彼らは、復活のイエス様と相対して話しているのに、「二人の目は遮られていて、イエス様とは分からなかった」(…16)のです。イエス様はこれを「心が鈍く預言者たちの言ったことすべてを信じられない者」(…25)と言われました。目に見えることに信頼を置く人、自分の感情に頼る人は心が鈍くなるのです。洗礼を受けたら、イエス様が見えたり、特別なことが起こるのではないかと感情、感覚に頼り、それが無いからといって、受洗後ほどなく教会に來なくなる人がおります。心が鈍くなっているからです。信仰者は、感情ではなく、神の言葉・聖書に信頼を置きます。だからイエス様はこの弟子たちに「モーセとすべての預言者から始めて、聖書全体にわたり、御自分について書かれていることを説明された。」(…27)のです。この弟子たちはイエス様が、野原でパンを裂き祝福して

2015年夏号

日本キリスト教団
横浜岡村教会

〒235-0021

横浜市磯子区

岡村 4-25-39

TEL.045(751)3917

牧師

安藤 脩

分けた時の奇跡を見て、弟子となった人たちでしょう。イエス様が食事の席でパンを裂いて渡してくださった時、彼らは「イエス様だ！」とハッと気づきました。彼らの心に聖書の御言葉への信仰が回復していたからです。

でも、ここには不思議なことが記されています。「二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。」(…31)のです。「二人の目が開け、その姿が良く見えた」のではないのです。心が開かれれば、もはや、肉眼の目には、イエス様が見える必要はないのです。いえ、栄光に入られたイエス様は、肉眼の目では見れないと言うべきでしょう。目に見えるものはいつか消えてゆきます。しかし、目に見えないものこそ、永遠に続くのです。心の目でイエス様を見た者は、イエス様を見失うことはありません。この栄光の主が、いつでも、どこでも共にいてくださることを、確信できるからです。「わたしたちの心は燃えていたではないか。」(…32)これこそ、彼らの心の目が開かれ、永遠に続く希望を与えられた証拠です。彼らはもはや失望し、気力の萎えた人ではなく、「時を移さず」行動せずにはおれない人に変えられました。

証し

洗礼を受けて



高1 坂本 晴哉

私がクリスマスチャンになるうと思ったのは、特にこれといった大きなきつかけはありませんでした。

小さい時から、両親に連れられて、ほぼ毎週教会学校に来ていました。しかし小学校4年の時に入ったミニバスケットクラブの練習や、中学校での部活動でほとんど教会に行くことができなくなりました。でも、教会学校などのキャンプに参加するチャンスがあり、その中で神様を信じることの素晴らしさを学ぶことができ、いつかは洗礼を受けたいと考えていました。そして何かの節目となる時に受けたいと思っていましたので、今年高校受験そして進学という大きな節目の時に、受洗を決めました。

4月3日に16歳の誕生日、5日のイースターに受洗、7日高校の入学式と続き、自分自身の大きな変化の時でした。

高校受験合格後、安藤先生に受洗準備の勉強をしていただきました。神様のことや罪のことなど、小さい頃には理解で

きなかった部分がたくさんあり、これから聖書を読んで、もっと学んで行きたいと思いました。

高校では中学校の友達が誰もいないという、少し不安なスタートとなりましたが、すぐにクラスに新しい友達ができました。そしてバスケット部に入部し、毎日良い仲間や先輩たちと共に一生懸命からだを動かしています。また、将来就きたい職業もありますので、これからは神様に導いていただき、勉強と部活動を両立できるように頑張りたいと思います。

私の好きな聖書の言葉は「神は霊である。だから、神を礼拝する者は、霊と真理をもって礼拝しなければならぬ」(ヨハネによる福音書4章24節)という部分です。

〔父から一言〕

受洗したいという話を突然打明けられた時は、本当に驚きましたが、幼い頃からこのように考えていたことを知ることができ、心から主に感謝申し上げます。聖日礼拝を第一とする生活は、今は難しい状況ですが、これからも温かく見守っていただければ幸いです。



晴哉くん

2015年4月5日イースター受洗



ペンテコステ
クッキーツリー



ハトクッキーを
頂きました



証し

洗礼を受けて

中1 田原 寧々



私は、幼稚園の頃から聖書と触れ合い、イエス様の存在を知り、聖書、讃美歌がある生活が当たり前となっていました。私にとってイエス様は、知らないうちにいつも隣にいてくれる存在でした。あまりにも身近にありすぎて、イースターの時期になると、いつもハツとその大事さ、ありがたさに気づきます。

私が、本格的に洗礼を意識し始めたのは、小3のバイブルキャンプの時でした。家族や学校でどこかに泊まったりするのは何度かあったんですが、顔見知りがほとんどいない状態での泊まりは初めてでした。たった2泊3日だったけれど、私はこのキャンプでイエス様を近くに感じ、自分の罪を赦して下さるイエス様を救い主として信じました。両親に「洗礼を受けたい!」と言いました。けれど、「まだ小さいから、中学生になったらね」と、はね返され、やっと許可がもらえたのは6年生の時でした。母は牧師先生と

話をして「洗礼を受けていいよ」と言ってくれたのですが、父からは「中学生になってから!」と言われ続け、決意してから3年の時がたっていました。でも、私は、この3年間でとても大事だったと思います。それは物事に関して冷静な目で見るようになったからです。以前より色々な事に目を配れるようになり、教会の人達との会話も多くなつて行き、決意がより強く、固くなつたからです。

ヨハネ15章12節に「互いに愛し合いなさい。これが私の掟である。」とあります。この聖句は私の好きな聖句です。この事を実現するには私一人では出来ません。誰かがいないと出来ない事であり、お互いを思い合える心がないと出来ません。人に無理強いをしたり、親切にしているつもりでも相手を傷つけてしまったりすることがあります。自分での力ではこの事を実現する事は出来ません。自分の弱い所を強くして下さるイエス様を見続けていきたいと思えます。すぐ近くの友達や近所の人たちなど、一人一人を大切にしていきたいと思えます。

私が洗礼を受けてびっくりした事は、教会のほとんどの人が私を知っていてく

れた事です。みんな「ねねちゃん」と呼んでくれるのです。恥ずかしかったです。が、本当に嬉しかったです。私はまだ子どもだけれど、教会の皆さんの事をもっともっと知って、一緒に歩いていけたら、もっと嬉しくなると思えます。これからよろしくお願いいたします。



2014年12月28日受洗

寧々さん受洗の日
お父さんお母さんも一緒に

2015年

新しい出発

三年エレミヤ組

石川 新

去年の12月頃は自分の仕事に関して、「来年はどうなるんだろう…」という漠然とした不安でいっぱいでした。しかし、そのことを先輩の先生に相談したところ、勤め先である母校を受験できることとなりました。書類をそろえる段階で、「所属教会の牧師の推薦状」というものがあったのですが、応募の締切が近い状態だったので、安藤牧師にも最初はお話しませんでした。しかし、牧師夫人から、まさに今準備をしている母校の公募のお話を聞かされました。そこで、推薦状を書いていただき、より結果につながる書類を用意することができました。そして、模擬授業や面接を経て、無事に母校の関東学院六浦小学校で3年生の学級担任として採用されることになりました。

しかし、採用が決まってからは、「4月からはいっぴかりやっつけていけるだろうか…」という別の悩みで頭がいっぱいでし

た。授業や学級開きの準備も隣のクラスの先生と一緒にやることなので4月までは具体的な用意ができません。そんな不安な状況で、とても支えになったことは、やはり祈りを捧げることでした。祈ることとで神様を頼ることが出来る安心を再確認できました。

4月になり、ついにはじめて自分の担任する学級の子どもたちと出会う時が来ました。「どんな子がいるのか？」と頭の中で様々な憶測が駆け巡っていました。が、実際に一人一人目を合わせて言葉が交わすと、とても無邪気で先生のことを敬う気持ちが伝わってくるいい子たちでした。1年生、2年生を担任してくださいました先生方に本当に感謝です。六浦小学校は学級の名前に聖書に登場する預言者やイエスの弟子の名前がついています。卒業生の私のクラスにも名前があり、私は6年間ペテロ組でした。そして今年受け持つ学級は「三年エレミヤ組」です。

まだ戸惑う場面の連続ですが、周りの先生方や保護者の方、そして何より子どもたちに支えられて、毎日奮闘しています。

いつも神様は目に見えないけれど様々な人を通じて実際に私を助けてくれます。

この数か月を振り返ると、書類の準備の際にも、絶妙な時期に良いお話をくださったことも、そして教員として採用されることになったのも私が神様に支えられ、自分を越えた力を発揮することができたためだと思えます。本当に感謝です。そして何よりも「三年エレミヤ組」の子どもたちを通して、学級担任の経験を一歩トらせてくださったことが一番の感謝です。

新しい出発

平野 耕太郎



私は、2008年12月に洗礼を受け、伝道に心を燃やし始めました。私は幼い頃からの夢だった鉄道の仕事を諦めて、献身したいという思いを持つようになりました。しかし、卒業してすぐに就職したキリスト教主義の知的障害者の方の作業所は、全く自分にあわず、すぐ辞めてしまいました。その後、これからどうすればよいのかと1年半も途方に暮れていた時期がありました。献身の道へ再度方向転換する事も考えましたが、「召し」

よりも今後の「飯」を心配していた私にとってこの選択は気が進みませんでした。かと言って、就職出来るあてなど全くなかったし、鉄道の仕事などなぜ今更就けるだろうと諦めていました。

しかしある日。私は鉄道写真の撮影から帰る電車の一歩前で、2時間以上もずっと立ちんぼうで、運転台の運転士の様子を眺めていたことがありました。その時にふと私は、鉄道の仕事があったという自らの素直な気持ちに気が付き、それを神さまに素直に申し伝えようと思ったのです。

私は現在、JR大船駅最寄りのJR東日本鎌倉車両センターに所属する運転士見習いとして働いています。神さまは、自分の素直な心をよくご存知なのだと思われを覚えます。しかしながら、この経験から神さまに自らの素直な思いを正直に委ねる事の大切さを覚えさせられました。献身の思いも確かに持ち続けてはいますが、それでも今は神さまがくださった幼い頃からの夢を叶える喜びに溢れ、立派な運転士を目指して働いています。



いつも新しく

安藤 雄介

私は高校から日本体育大学に進学しました。そして「何かでトップをめざしてみよう!!」これが始まりでした。

トランポリンでオリリンピックを目指してみようかと仮入部したのですが、その最中にダブルダッチと出あいました。その格好よさに一目で「これをやろう!」と決め、すぐ仮入部しました。そこからダブルダッチ漬けの毎日!!週3回の全体練習は勿論、それ以外はアクロバットの練習、夜はダブルダッチについての話し合い。そんな日々を送り、3年生にはニューヨークのアポロシアターに立ち、4年生にはアジア大会で4冠、世界大会にも行く事が出来ました。卒業後は渡豪し、1年間現地の子ども達へダブルダッチを教え、ストリートで集めた仲間とパフォーマンスを行ったりもしました。

帰国後、今のチームであるプロダブルダッチチーム「J-TRAP」に誘われメンバーとなりました。現在はこのチームのリーダーを務めさせて頂いています。一つの事を継続してやり続ける。このシンプルな事が本当に難しい。勿論、紆余

曲折ありました。一人では出来ない。仲間がいて初めて出来るダブルダッチ。すれ違いもあり、言い合いもありました。けれど、そこを突き抜け舞台の上でパフォーマンスを終えた時の気持ちは、他では味わえないものがあります。辛い時期もありました。チーム競技なのに孤独を感じる時もありました。けれど幸せな事に僕は一人ではありませんでした。僕の好きな詩に「FOOTPRINTS」があります。僕にはいつも神様が近くにくれて、辛い時、僕を背負ってくれたのでここまでやり続ける事が出来ました。

今自分には夢があります。やりたい事があります。これを形にする為にもう少しダブルダッチを続けて行きたいと考えています。



雄介くん・真ん中下



J-TRAPダブルダッチチーム

2015年
写真で見えるイースター



ジュニア・チャーチの子ども達の賛美



イースター礼拝での洗礼式

晴哉くん、おめでとう！



イースターエッグ



手作りかまどとせいろ



ご近所に紅白餅を
届けました



もちつきぺったん！！



美味しいお餅をたくさん食べました



ジュニアチャーチの子ども達



聖歌隊



交わりの場には
尺八の音も！



初めて役員に選ばれて

井上 鈴枝

3月1日(日)臨時教会総会が開かれ、2015年度の役員選挙が行われました。そして3人の改選役員が決まり、その中に私も入っていたので、大変驚き緊張しました。選挙当日の午後には拡大役員会が開かれ、各部門の奉仕分担も決まり、私は総務部の補佐と礼拝部の補佐に就くことになりました。何もわからない者がこれから2年の間、役員の務めを果たすことが出来るのか、とても不安になりました。3月22日(日)の任職式を終えても不安は消え去らず、そのため日々主に祈り続けたのです。祈り続ける中で御言葉が与えられました。「恐れることはない、わたしはあなたと共にいる神。たじろぐな、わたしはあなたの神。勢いを与えてあなたを助け、わたしの救いの右の手であなたを支える。」イザヤ書41章10節 それは教会のために働きなさいと言うことでした。不安は次第に消え去り、選ばれたからには、役員として誠心誠意ご奉仕したいという気持ちになりました。



第2回 安田正昭

ピアノ・コンサート



5月17日に、第2回目のピアノ・コンサートが開かれました。

安田正昭氏には、午前の賛美奉獻礼拝に2曲の演奏を頂き、午後のコンサートは、ベートーベン「悲壮ソナタ」、リスト「愛の夢、カンパネラ」、ムソルグスキー・組曲「展覧会の絵」そしてこの曲をオーケストラに編曲して有名にしたラベルの曲を1曲。解説を添えて一気に演奏頂き感嘆と静粛と拍手に包まれました。ご来場の皆様からのアンケートの一部を紹介します。

○解説頂いた情景、絵を思い浮かべて聞く事が出来ました。

○カンパネラ等、子供時代を思い出しました。身近に一流の演奏家を

頂いている恵みを心から感謝。去年伺い、今回もお知らせ頂き素晴らしい時を感謝です。一年に一回でも楽しみにしています。感謝！

○とても素敵な演奏で感激しました。アップライトのピアノを弾くのは大変ですが素晴らしい演奏でした。

○長い間パーキンソンにかかり、毎日気の重い生活をして居りますが、今日は楽しい一日でした。今日の演奏は素晴らしい心が豊かになりました。

○大きなホールでは味わえない近親感もあり楽しむ事が出来ました。ピアノの3m未満の場所ですりサイタルを聴いたのは初めてでした。ピアノ演奏に大変感動し、この様な機会を感謝します。





JCの窓 (ジュニアチャーチ)

「新しい年度を迎えて」

安藤 善枝

2015年、新しい年度、イースターをもって迎えました。子ども達が

たくさん来ます様にとの祈りを捧げ、小学校の前でチラシを配り、休んでいる子ども達に便りを出しました。当日初めての子ども達を含め、20名程で礼拝の中で賛美をする事が出来ました。お母さん方もたくさん来て下さり、お餅つきのお手伝いをして下さいました。本当に感謝でした。その日以来、毎週日曜日毎に新しい子ども達が親御さんと共においで下さ

り、JC自体に新しい空気が注がれてきています。これにはミッションスクールが、日曜日礼拝を守ることの大切さを語って下さっている事に在ります。私達受け入れる教会として、しっかり備えて行かなければと思わされています。

今年はお便りを親御さんに届ける事と、休んでいる子供達にママに便りを出す事に力を注いでいこうと思っています。お祈り下さい。



2015年5月11日
母の日親子礼拝

6～8月 行事予定

6月

- 4日 横浜地区婦人講演会(六角橋教会)
- 10日 三教会統一祈祷課題祈祷会
- 14日 JC花の日礼拝
- 19日 佐野宅家庭集会
- 21日 JC父の日招待礼拝
- 27日 教区総会(清水ヶ丘教会)

7月

- 18～19日 第34回岡村アシュラム
(助言者・横山義孝師)
- 24日 佐野宅家庭集会
- 26日 三教会交流講壇交換(片平貴宣師)

8月

- 1～2日 JC夏季学校(教会)
- 8日 カレブの会交わり会(さくらい)
- 16日 創立記念日礼拝
- 17～20日 安藤師夏期休暇
- 21日 佐野宅家庭集会
- 24～26日 こころの友伝道全国大会
(天城山荘)
- 30日 DVD鑑賞会

(毎月第1主日 聖餐式、役員会)
(毎月第4主日 各会の定例会)

集会案内

◎第34回岡村アシュラム

期日・7月18日(土)～19日(日)

助言者・横山義孝師

◎ジュニア・チャーチ夏季学校

期日・8月1日(土)～2日(日)

場所・当教会で1泊

テーマ「よいサマリヤ人」

◎第10回岡村バザー

期日・11月7日(土)

AM11:00～PM2:00

献品をお願いします。

編集後記

緑深く麗しい季節になりました。「岡村の泉」夏号も、爽やかな香りをお届け出来る様になりました。若者たちの新しい旅立ちを、特集致しました。

又、安田正昭兄による、第2回ピアノコンサートでは、大勢の方々と共に、素晴らしい演奏を聴く事が出来ました。編集委員会では、更に、魅力ある紙面をめざしてまいります。

M・I

